

津別発の日本初！ オーガニック牛乳物語

現在インターネットで公開中！ 町のHPをご覧ください

津別から生まれた日本初の有機JAS認証品、オーガニック牛乳。有機栽培の餌を食べた牛から搾られた牛乳です。牛にも、人にも、環境にも優しい生乳づくりを実現するために。そこには並々ならぬ苦労と不屈の想いがありました。現在建設中の最新大規模牛舎の情報もご紹介します。ぜひご覧ください！



職員がレポーターに挑戦

《取材希望企業・飲食店・生産者募集! 詳しくは役場住民企画課まで》

問い合わせ先 住民企画課 企画係 ☎76-2151 (内線243)

タウンニュース 第47回 Town News Tsubetsu つべつ

この番組は、津別町の今を映像で定期的に発信(月1回)することで、町民の町づくりへの参加促進、移住・定住の促進、ふるさと納税の拡大を図り、町づくりの記録を残すことで、10年後20年後の町民への財産とします。完成した映像は、町のWebサイトや道東テレビ、YouTube等で公開いたします。また、さんさん館、津別病院、道の駅あいおいに設置された「デジタルサイネージ(映像看板)」でも視聴することができます。
※タウンニュースつべつは、ふるさと納税の寄附金により制作しています。

軽自動車の抹消・移転の登録は3月31日までに
軽自動車税種別割は、毎年4月1日現在で町内に登録されている、軽自動車・二輪・原付自転車・小型特殊自動車等をお持ちの方に納めていただく町税です。
対象の車を廃車・売買・譲渡等により所有しなくなった場合は、抹消・移転の登録をお願いいたします。
原付自転車・小型特殊自動車は津別町役場税務収納係(7番窓口)で、軽自動車は北見地区軽自動車協会、二輪は運輸支局での手続きとなります。
令和3年3月31日までに抹消または移転の登録がされない場合、令和3年度の軽自動車税種別割が課税されますのでご注意ください。
問い合わせ先
・住民企画課税務収納係 ☎76-2151 (内線220)
・北見地区軽自動車協会(コールセンター) ☎050-3816-1769
・北見運輸支局 ☎0157-24-7581

奨学金返還支援事業助成金制度について
町内に新規就労する方に、奨学金返還の支援をいたします。
対象者
次の条件をすべて満たす方
①奨学金の貸与を受けて大学、短期大学、専修学校専門課程、高等専門学校(第4学年及び第5学年)に進学した方
②新規就労で津別町へ転入した方又は既に居住している新規就労する方
③津別町内の事業所を有する事業主に、令和3年4月1日以降に新たに正規雇用され、申請年度末まで継続して雇用される見込みのある方(自営の場合も含みます)
④奨学金の返還に滞納がない方
⑤町税等に滞納がない方
支援内容
奨学金の返還額(年間12万円上限)を最長10年間支援いたします。
申請受付期間
令和3年3月1日(月)～4月20日(火)
詳しくは町ホームページ
<https://www.town.tsubetsu>

心配ごと相談のお知らせ
心配ごと相談は、社会福祉協議会で随時受付し、相談員との日程を調整します。
気軽にお問い合わせください。
津別町社会福祉協議会 ☎76-1161

町税の未納はありませんか
町税を未納のまま放置しておくと、本税のほかに延滞金がかかります。未納の税金がないかお確かめの上、未納分は早急に納付願います。
また、納付が困難な場合は、放置せず税務収納係までご相談ください。
問い合わせ先
住民企画課税務収納係 ☎76-2151(内線218)

又は役場住民企画課企画係までお問い合わせください。
申請・問い合わせ先
住民企画課企画係 ☎76-2151(内線241)

津別町青年活動プロジェクト『and』活動報告 No.22

年間を通じて町内の青年たちが集い、話し合い、交流し、様々な活動を展開しています

コロナ終息と皆さまの健康を願いオニの訪問「出張オニ」を実施!

■本来の節分から少し遅くなりましたが、2月6日(土)に出張オニを実施し、町内高齢者福祉施設等をメンバー8名で訪問しました! 例年訪問先で直接触れ合いながら節分を楽しむ内容としていましたが、今回は新型コロナウイルスも考慮し施設内には入らず窓越しでの訪問となりました。直接交流することはできませんでしたが、それでも訪問先では温かい歓迎を受け、皆さんの元気な笑顔に会うことができました♪ ご協力いただいた皆様ありがとうございました!



■コロナの1日も早い終息を願って、今回は町内飲食店等を訪問・応援する企画も併せて行いました! 訪問の様子はandのインスタグラムに投稿していますのでぜひチェックしてみてくださいね♪ ⇨⇨

問い合わせ先 生涯学習課社会教育係 ☎76-2713 (中央公民館)



サルコペニアとは、加齢や病
気などにより、筋肉量が減少することで、握力や体を支える筋肉など全身の「筋力低下が起こること」を指します。または、歩くスピードが遅くなる、杖や手すりが必要になるなど、「身体機能の低下が起こること」を指します。
判断基準は、歩行速度、握力、筋肉量で行います。歩行速度は、毎秒80cm以下が該当します。握力は男性26kg未満、女性18kg未満が該当します。
歩行速度の目安としては、横断歩道の歩行者用信号機が青になつてから渡り始め、青の点滅になる前に渡り切れれば毎秒100cmの歩行速度となります。
握力ですが、ペットボトルのふたを開けるために必要な握力は15kgと言われています。この基準から女性がペットボトルのふたを開けられ無ければ、18kg未満の可能性がります。

サルコペニアの予防法として
運動療法が重要であると考えられています。運動療法には、ストレッチングや筋力トレーニング、バランス練習、持久力トレーニングなどがあります。サルコペニアの予防法として運動療法が重要であると考えられています。運動療法には、ストレッチングや筋力トレーニング、バランス練習、持久力トレーニングなどがあります。

筋力ですが、個人では測ることができないので、地方公共団体に相談したらいいでしょう。この三つの基準に全て該当する場合、サルコペニアと判断されます。

サルコペニアの予防法として
運動療法が重要であると考えられています。運動療法には、ストレッチングや筋力トレーニング、バランス練習、持久力トレーニングなどがあります。

グループホームほのほの勤務。北海道ポッチャ協会公認審判員、普及指導員、日本障がい者スポーツ協会公認スポーツ指導員
鈴木 仁